

ロータリーの夢を 追いつけよう

1998-99年度 国際ロータリーのテーマ

第2560地区
 ガバナー——富山 富一
 会長——細井 増雄
 会長エレクト——長谷川 有美
 副会長——斎藤 弘文
 幹事——西山 徳厚
 副幹事——藤田 紘一
 S A A——高森 章仁
 副 S A A——五十嵐 寿一

例会日——毎週水曜日 12:30～
 例会場及び——三条市旭町2-5-10
 事務局——三条信用金庫本店
 例会場——TEL 35-3311
 TEL 35-3477
 事務局——FAX 32-7095

本日出席会員数	78名中 47名
先々週出席率	83.56%

ビジター

三条ローターアクトより
 小出秀樹さん

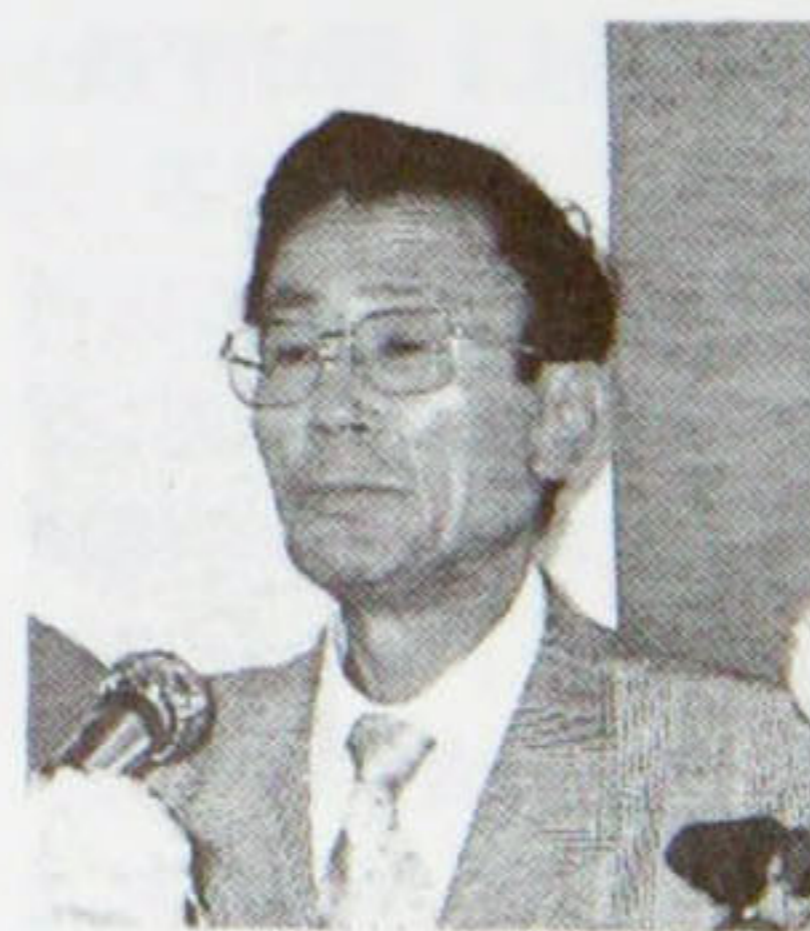
先週のメイクアップ

- 4/28 新潟南へ
捧賢一さん
- 4/30 東京城北へ
林光輝さん
- 5/7 東京城北へ
林光輝さん
- 5/10 三条南へ
斎藤弘文さん、古沢富雄さん
- 5/11 三条北へ
五十嵐総一さん、
五十嵐力さん、
加藤紋次郎さん



会長挨拶

長谷川会長エレクト



本日は、細井会長、斎藤副会長、ご両人共なにかの会がございまして、と云うのは、細井会長より3～4日前に連絡を頂いておりましたが、忘れてしまいました。ただ、「カナケ」に関する会ではないようでした。

今日は、久しぶりに素晴らしいお天気に恵まれて、そのせいかわかりませんが、47名の出席だそうでございます。職業奉仕に一生懸命なのか、アウトドアに一生懸命なのか分かりませんが、一寸さみしい出席人数でございます。

本日は、後で熊倉会員からご紹介を頂きますが、(株)家のスギヤマ様の代表取締役でいらっしゃいます、杉山幸英さんが今日から新入会員としてお見えになっております。後ほどご紹介をお願いした

と思います。

また、ローターアクトの小出君が、研修旅行で約一週間ニュージーランドへ行ってきたとのこと。ニュージーランドの国情視察をして来たとのことですので、後ほどその報告を頂きたいと思

います。本日は第一例会でございますので、挨拶はこれくらいにさせていただきます。

幹事報告

西山徳厚幹事

◎分水RCより

新潟県下ロータリアンゴルフ大会のご案内がとどいております。

とき 6月17日(木)

ところ 新潟CC

申込締切 5月20日(木)



ニコニコBOX

古澤富雄さん

ゴルフ同好会のコンペで優勝させて頂きました。天候も予報がはずれ、風は強かったのですが雨にうたれませんでした。ご一緒の皆さん、ありがとうございました。

荻根澤隆雄さん

都合に依り早退、川瀬会員のお話し、聞けず残念です。

渡辺勝利さん

再び、会議所にお世話になることになりました。よろしく願い申し上げます。

佐藤 武さん

来週の日曜日16日頃、下田の姫小百合が見頃だそうです。小一時間の散策に適当と思われます。

成澤敏明さん

川瀬会員の卓話を楽しみにしております。

吉井俊介さん

杉山さんをお迎えして。

石橋育於さん

杉山さんの入会を歓迎しまして。

小柳直人さん

杉山さんの御入会を歓迎致します。

熊倉昌平さん

杉山幸英さんの入会を歓迎して。

佐藤吉平さん

①地区RAの海外研修でニュージーランドへ行ってきました。とても楽しい研修旅行でした。

②新入会員、杉山さんを歓迎して。

榎本 勝さん

5月8日、加茂市水源地に於て、自衛隊主催の山菜採り野外パーティーで、楽しく1日を過ぎて来ました。

5月12日分 ￥13,000

今年度累計 ￥611,000

〈新入会員〉

杉山幸英会員



皆様、始めまして、塚野目で建築業を営んでおります杉山と申します。

この度、伝統ある三条RCに入れて頂きまして、光栄に思っております。伝統あるクラブの名誉を損なうことのないよう、頑張りますので、今後とも、宜しくお願い申し上げます。

海外研修の報告

三条RAC 小出秀樹君



今回、地区の海外研修でニュージーランドへ7日間の日程で行ってまいりました。

現地では、ホームステイと云うことで、羊や牛を飼っている牧場に泊りまして、仕事のお手伝いをしながら、家族の方々とコミュニケーションをはかって参りました。その他には、現地のオークランドイーストRC及び、RACの例会訪問を行なってきました。

海外旅行するのが初めてで、飛行機に乗るのがさへも初めてでしたので、寝るひまもないくらい楽しい7日間でした。

三条RC、及び三条RACより色々な面でご協力を頂きたいへんありがとうございました。



卓 話

「電気の小売り自由化について」

川瀬国雄会員



規制緩和の進展に伴い「効率化と安定供給」の二つの要請に応えるため、平成7年12月に31年ぶりに電気事業法が改正されました。

その後、閣議決定をされました「経済構造の変革・改革のための行動計画」を踏まえて、平成13年までに我が国の電気事業のありかた全般について見直しを行うこととなりました。

見直しについては具体的には三つの項目から検討が進められたわけですが、お客様の立場から一番関係のあります「電気の小売り自由化」のお話を中心にさせていただきます。

実施目標年度は2001年からでありましたが、一年早まりまして実施は2000年・来年から実施されます。(正確には平成12年1月4日公表3月21日から実施。この期間が新規参入者とお客様との自質的交渉期間)

電気事業法の改正を受けて9社一斉に平成8年1月1日に電気料金の引き下げをいたしました。

当社は8.61%の電気料金の引き下げをさせていただきました。

しかし、国際レベルと比較するとまだまだ電気料金が高いとのご指摘があり、国際競争に勝つためには2001年までに「電気事業のありかたの見直しと国際的に遜色のないコスト水準にせよ」との国から要請がなされました。

マスコミを中心に諸外国に比べて二割位高いとのお話が報道されました。(ドイツ並みの電気料金の実現)

一度に引き下げるには大変大きな原資を必要としますことから、二回に分けて値下げをすると皆さんに公表いたしまして、昨年2月10日から6.09%の値下げを実施いたしました。(昭和61年以降九回の引き下げを行い、下げ幅20%0を越える電気料金の引き下げを実施)

値下げの原資を出すために、当社は、年間1兆5,000億円の売り上げの会社であります。

設備投資も年間5,000億程度でありましたが、4,500億から4,000億程度にここ3年間押さえてまいりました。

そのほか営業所・サービスセンターなどの事業所の縮小・見直し、資材の海外調達、発電所の設備効率の向上・熱効率の向上など効率化につとめ

てまいりました。

一部地域から存続の要請などありますが、この8月1日からは、県内に現在19箇所あります営業所を15箇所にいたします。小規模事業所の五泉・見附・小千谷・新井営業所4箇所を閉鎖いたします。

過去には23箇所ありますサービスセンターは、冬期の事故対策、地域の特性などから、妙高高原・湯沢の二箇所を残すこととしまして、21箇所全て閉鎖いたします。

約束ごとであります電気料金の値下げは、来年早々にもう一度値下げをすることになると思

います。併せて本日の本題であります「電気の小売り自由化」も実施されます。

自由化の範囲・対象をどうするか1番の問題点であった訳ですが、自由化の対象となりますお客様は、当面は、特別高圧の受電で2万ボルト以上で、電気の使用規模2,000キロワット以上のお客様が対象となります。

原則的には規制はいっさいありませんから、売ってくれる電力会社(新規参入者)があれば東北電力以外からも買えることとなります。

極端な言い方をすれば、現在は9つの電力会社があり、供給エリアが決まっている訳です。

当社のエリアは、青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島東北6件と新潟県ですが、供給エリアの区分は関係無く自由になります。

現在の電力会社同士の競争もありうることとなります。

当事者間の自由交渉による契約となります。東北電力管内ではどのくらいのお客様が該当するかと言いますと、件数で573件、販売電力量で23%、電気料金収入で15%であります。

新潟県内では70件です。三条営業所管内では6件で、販売電力量で24%くらいです。

実際どの程度お客さんが当社から自由化市場へ流れるか、まったく見当が付きません。

当面は以上のお客さんが該当するわけですが、これで自由化の範囲は終わりではありません。3年後(2003年)に部分自由化の成果を検証し、エネルギーセキュリティー、環境問題、料金の均一化などの公益的な課題を踏まえ、自由化の範囲を拡大することになると思

います。おそらく高圧6千ボルトのお客さまで、使用規模が500KW以上のお客さんが該当することになると思

います。そうなりますと、売り上げの半分以上が自由化

の競争の範囲となります。

電気料金のあり方・考え方が根本から崩れこと
になります。

従来は原価主義と言いまして、発電所で発電し
ていくら。変電所利用でいくら。配電線利用でい
くら。それに事業収益を加味していくら。と原価
を計算して、通商産業大臣に改定の申請をいたし
ます。

通産省は公聴会を開催して、地域の皆さんのご
意見を伺って、申請内容の審査・査定をして、認
可となり、電気料金は決まっておりました。

今後は、競争相手が出てくることになるわけ
ですから、普通の会社と同じことで、完全なマーケッ
トプライス・価格の競争になります。

価格と電気の質や安定供給等のサービスの競争
になります。

お客様は安ければ安い方を選択することになり
ます。「信頼され、選択され続ける東北電力」と
して事業を進めるには、低廉な料金水準を実現し
なければなりません。

従いまして、効率化と原価の低減は永遠の課題
となります。

当初の計画では、事業所の見直し、組織の整備
は一応今年の8月で終了予定であったのですが、
引き続き再整備の検討を進めてまいります。

営業所の業務は最小限の検針・未収料金の回収
と事故対応要員のみとして、営業業務は仙台に設
置する料金事務センターに集中いたします。

総務業務・電話受け付け業務等は、各県1個所
へ集中する方向で検討いたします。

設備投資も平成11年以降は、3,300億、人員も
現在14,700名程おりますが1,000名の減で取り組
んでまいります。

競争原理を取り入れて自由化になっても、特定
の方へのメリットは出てまいります。一般のご
家庭へのメリットが出てこなければ自由化の意味
するところが無い。と言われても仕方がないわけ
であります。

そのために、自由化のメリットを一般のお客様
へも還元する努力が必要となってくるわけです。

引き続き「信頼され、選択される東北電力」で
あり続けるために、効率化・原価低減は一般の会
社と同じく永遠の課題として事業を進めなければ
なりません。

本日はこのような機会を与えていただいて感謝
しております。

ありがとうございました。



例会案内

三条RC	6月2日例会	会員卓話
	6月9日例会	会員卓話

メイクアップをどうぞ

三条南RC	5月31日例会	会員卓話
	6月7日例会	会員卓話
三条北RC	6月1日例会	クラブフォーラム
	6月8日例会	クラブアッセンブリー
加茂RC	6月3日例会	クラブフォーラム
	6月10日例会	会員卓話
燕RC	6月3日例会	通常例会
	6月10日例会	外部卓話 燕高等学校校長殿
見附RC	6月3日例会	通常例会
	6月10日例会	通常例会